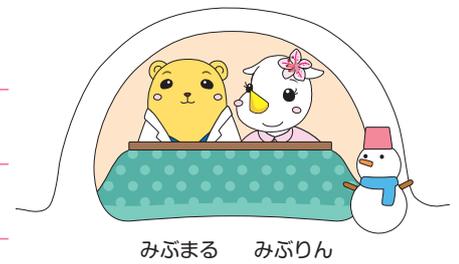


やすらぎ

2023・1

冬



特集

お母さんと生まれてくる赤ちゃんを チームでサポートします



◆ さまざまなスペシャリストがお産を支えます！

産婦人科・小児科医師／助産師・看護師／薬剤師／医療ソーシャルワーカー(MSW)／周産期カンファレンス



写真のイルミネーションは、毎年12月にボランティアの協力により、当院北館の庭園に設置しています。



地方独立行政法人 京都市立病院機構
京都市立病院

この「やすらぎ」は、
ホームページでも
見ることができます！



お母さんと生まれてくる赤ちゃん

当院では、総合病院としてのメリットを活かして、自然な出産を希望される方からの健康上の不安への対応はもちろん、社会的な不安等を抱えている方にも手厚くサポートいたします。皆さまが安心して出産できるよう、医師・助産師・看護師・薬剤師・栄養士・医療ソーシャルワーカーなどが力を合わせたチームで支えています。

妊娠中

妊婦健診

妊婦健診では身体のことや気持ちの変化、家族のこと、仕事のこと、経済的なことなど、いろいろな心配事を医師だけでなく助産師や医療ソーシャルワーカーと話せる機会を作っています。



母親教室（妊娠中の過ごし方クラス）

妊娠のどの期間でも参加可能

助産師、栄養士や歯科衛生士が担当します。妊娠中、母子共に健康に過ごせるように日常生活や食生活についてのアドバイスをします。妊娠中、母子共に健康に過ごせるように日常生活や食事について見つめ直してみましょう。



母親教室（出産準備クラス）

妊娠30週～36週頃までの方

助産師が担当し、出産準備や出産のはじまりと入院の時期、出産までの過ごし方などをお話します。参加していただくことで他の妊婦さんとの交流の場にもなります。コロナ禍以前は入院される病棟や分娩室の見学をしていました（現在は中止しています。）。



セルフケアをサポート

出産時

赤ちゃんとの同室

出産後は体調に合わせて母児同室をしています。赤ちゃんと同じ部屋で一緒に過ごすことで退院後の生活に自信が持てるようになることを目指しています。疲れた時は、新生児室でお預かりすることもできます。



当院には助産師が24名在籍しています。母性専門看護師1名、アドバンス助産師11名をはじめとして、日々母子とその家族に寄り添ったケアを心がけており、安心して出産いただけますので、どのようなことでもお気軽にご相談ください。



母性看護専門看護師
前田 一枝

ハイリスク妊娠について

高齢初産や双子の妊娠、糖尿病、甲状腺疾患、腎臓病などの病気を持っている方の妊娠をハイリスク妊娠といいます。

当院では総合病院の強みをいかして、様々な診療科の医師と協力して、ハイリスク妊娠の方が安全・安心に出産できるような体制を整えています。

をチームでサポートします

当院でのお産に興味のある方は産婦人科外来までご連絡ください。

TEL 075-311-5311 (代)

立ち会い出産

妊娠34週ころにプラン(出産の時にどのような出産を望んでいるか、入院中の過ごし方などについて考えることです)を伺います。

パートナーや家族に立ち会ってもらうことは、産婦さんの支えとなり、喜びを分かち合うことができます。

出産はLDR [Labor (陣痛) Delivery (出産) Recovery (回復)] という個室で行い、陣痛から出産、産後を通じて移動することなく同じ部屋でゆっくり過ごしていただけます。



緊急時にも
安全・安心

里帰り出産

出産の予約はいつでも可能です。里帰り出産を希望される方は妊娠34週頃から当院で妊婦健診を受けていただきます。

その他、新型コロナウイルス感染症対策の関係についてはホームページをご参照ください。



帝王切開について

帝王切開が適応となった場合は、安心して手術を受けてもらえるように手術室看護師が手術前に訪問し、手術への不安やご希望などをお聞きしています。

手術後の傷の痛みや後陣痛に対して、麻酔科医師が痛みのコントロールをします。経過が順調であれば、赤ちゃんと一緒にお部屋で過ごしていただけます。

出産後

産後リラクゼーションケア (アロママッサージ)

産後には助産師が行う、心身ともにリラックスできる足のマッサージを受けられます。個室でゆっくりとした、アロマの香りに囲まれた中で、ほっこりした時間を過ごしていただいています。



京都市事業のご紹介

京都市産婦健診ホットとサポート事業

退院後、1週間経過した頃に助産師がお母さんと赤ちゃんの退院後の様子を聞き、次の1ヶ月健診までの間を安心して過ごせるようサポートします。(退院後2週間健診)里帰りの方にも同様の健診を行っています。



産後ケアの 充実

京都市スマイルママ・ホットと事業

産後のお母さんの心身のケアや育児サポート等を行う産後ショートステイを当院でご利用いただけます。助産師等の専門職がサポートしますので、希望される方はお住まいの地域の保健福祉センター子どもはぐくみ室にご相談ください。

さまざまなスペシャリストが お産を支えます!

当院では、妊婦健診の際に医師だけでなく、助産師ともお話しする時間を設けています。また、妊娠中、授乳中などに自身が内服するお薬に関して不安を抱くことがあれば薬剤師が説明をします。産まれた赤ちゃんが入院となり不安を抱く際には同じような赤ちゃんを診た経験のある小児科医や看護師が対応します。お母さんの抱く不安や悩みなどがあれば、医療ソーシャルワーカーがご相談に対応します。当院では、チームでお産を支えています。

是非、安心して当院での出産を選んでいただければと思います。



産婦人科

予期せぬ急変にも迅速に対応します!
～お母さんと赤ちゃんに優しい病院を目指して～

京都市立病院ではさまざまな妊婦さんを受け入れています!

当院はリスクの少ない妊婦さんからハイリスクな妊婦さんまで、様々な妊婦さんの分娩を24時間体制で行っています。産婦人科の病気だけでなく、合併症（糖尿病、高血圧、甲状腺疾患、腎疾患、てんかんなど）のある妊婦さんは各科と連携を取りながら、妊娠期から産褥期に至るまでサポートをしています。自然分娩が可能であると思われる妊婦さんは原則として経膈分娩を行っています。経膈分娩を行うことで、母体、胎児にリスクが高い場合には帝王切開を選択します。

総合病院として、地域の産婦人科でのサポートが困難な妊婦さんの受け入れも積極的に行っています。



こんな時に帝王切開をします!

逆子、多胎妊娠（双子など）、前置胎盤、前回帝王切開をしている、子宮手術をしたことがあるなどの場合は、あらかじめ手術日の相談をして、帝王切開をしています。ただし、多胎妊娠に関しては場合によっては経膈分娩も行っています。



経膈分娩中に、分娩進行が止まってしまった場合や、母体の血圧が急上昇した場合などに加え、赤ちゃんがしんどいサインを出している時など、母体や胎児の状況によっては緊急で帝王切開を行うこともあります。このような場合にもすぐに対応ができる体制を組んでいます。

小児科

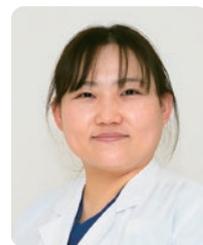
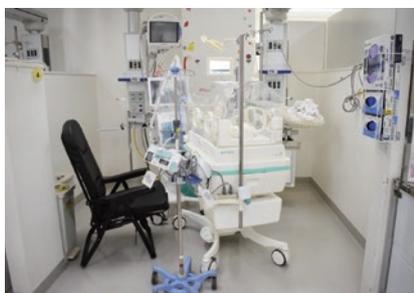
赤ちゃんの健康と命を守ります！ ～新生児ケアについて～

新生児集中治療室は、早産や低体重で生まれた赤ちゃんや、出生後に何らかの治療を要する赤ちゃんのための施設です。

当院には、より集中的な治療・看護を行うNICU6床と、比較的安定した状態の赤ちゃんのための治療・看護を行うGCU4床があります。

当院のNICUの各スペースは高さ150cm程度の壁で仕切られており、広い空間で赤ちゃんとの時間をゆったりと過ごしていただけるように配慮しております。また、入院中のお母さんは24時間面会ができ、お母さんの退院後もご両親での毎日の面会が可能です。

スタッフ一同、ご家族の新たなスタートを支援できるように努めております。



小児科医師
塩見 梢

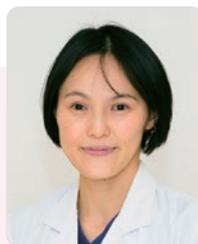
意外と知らない逆子について教えます！

赤ちゃんは頭が下を向いた姿勢でいることが多いのですが、中には頭が上を向いている姿勢の赤ちゃんもいます。これがいわゆる逆子です。妊娠中期までは逆子の状態の赤ちゃんも珍しくなく心配する必要はありません。妊娠36週頃には95%以上の赤ちゃんが頭を下にする姿勢となります。逆子と診断された際に逆子体操を行うよう指導されることもありますが、それによって逆子が治ると保証されるものではありません。逆子は自然と治ることが多いですが、分娩直前まで逆子の状態の赤ちゃんは、お母さんのお腹の中でその姿勢でいることが心地良いのです。好きな姿勢でいる赤ちゃんを想像すると愛おしく感じるのではないのでしょうか。



当院に現在勤務している女性医師は、自身も妊娠、出産を経験しています。

妊婦ならではの悩みだけでなく、子育てに関することから雑談まで、何でも気軽に教えてください。



産婦人科医師
大井 仁美



産婦人科医師
山本 櫻

妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師が教えます！ ～お薬との付き合い方について～

妊娠中に薬を使っている？



赤ちゃんへの影響が気になると思いますが、お母さんの体調を整えることは、お子さんが育つために大切です。必要な時に薬を使うことは、お母さんにもお子さんにもメリットとなります。妊娠中はお母さんに有効で、お子さんへの影響が少ない薬を選んでいきます。

妊娠中によく出会うトラブルには、つわり、貧血、便秘、腰痛などがあります。便秘薬や痛み止めはドラッグストアなどでも購入できますが、避けるべき薬があるので、できるだけ病院で相談して薬を出してもらいましょう。かかりつけの産科以外の病院、診療科を受診した場合は、かかりつけの産科に報告しましょう。



授乳中に薬を使うと子供に影響はある？

お母さんが使った多くの薬は母乳中に分泌されます。ただし、分泌される薬の量は少なく、お子さんへの影響はほとんどないことが大多数です。母乳でお子さんを育てるメリットはたくさんあるので、薬を始める、飲んでいるからといってすぐにあきらめずに相談してみてください。

妊娠中と同じく、ドラッグストアなどで購入できる薬の中には避けなければいけない薬があります。総合感冒薬（風邪薬）は特に注意が必要です。



薬剤科
内藤 舞

納得して方針を決めることができるような情報提供を心がけています！

妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師は、妊娠中・授乳中の薬物療法を母子双方にとって安全かつ適切に実施するため、医師や助産師などスタッフと連携しています。

普段は主に病棟で活動しているので、相談希望のある方は医療スタッフにお声がけください。

医療 ソーシャル ワーカー (MSW)

お母さんのところに寄り添い支えます！ ～当院の強みは、寄り添う姿勢とチーム力です～



医療ソーシャル
ワーカー (MSW)
西山 友香

当院では、妊娠・出産期をおだやかな気持ちでお過ごしいただけるよう、妊娠・出産をきっかけに生じる生活全般にわたる心配ごとをお伺いし、専門職のチームでサポートしています。相談窓口として本館1階東口に患者支援センターを設置し、医療ソーシャルワーカー・看護師等が各種ご相談に応じています。

近年はお仕事に関するご相談も多く、お母さんが大切にしたいことを尊重しながら、育児との両立を支援しています。また、病気や障がいのあるお子さんも、住み慣れた地域ですこやかに成長できるよう、行政やその他の関係機関・専門職とも連携しながら、子育て支援・社会福祉サービスについて一緒に考えてまいります。

なお、当院は入院助産制度の対象施設となっておりますので、経済的なご事情がある方も、まずはご相談ください。



周産期 カンファ レンス

地域周産期母子医療センター^{*}としての 役割を担っています ～院内協力体制のさらなる強化へ～

安心して出産いただける環境づくりを目指し、月に1回カンファレンスで情報共有しながら院内の連携を強化しています。

副院長、産婦人科医師、小児科医師、産科病棟、小児病棟、薬剤科、栄養科、MSW、その他内容によって他科も一緒に周産期医療の運営を行っています。

※産科及び小児科(新生児診療を担当するもの)等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設を都道府県が認定するもの。また、総合周産期母子医療センターや地域周産期医療関連施設等と連携を図るもの。



カンファレンス風景



令和4年度 京都市立病院 ミニ市民公開講座開催のご案内



ミニ市民公開講座を下記のスケジュールで開催しています。講演終了後に質疑応答の時間もありますので、**血液がん**について知りたい方、日ごろ体調について疑問などをお持ちの方は、ぜひお越しください。

【テーマ】よくわかる「血液がん」とその治療 ～早期発見と病気とうまく付き合っていくために～

第6回: 令和5年 3月11日(土) 「多発性骨髄腫」

過去の講演

- 第1回: 令和4年 5月21日(土) 「急性白血病」
- 第2回: 令和4年 7月 9日(土) 「骨髄異形成症候群」
- 第3回: 令和4年 9月10日(土) 「慢性骨髄性白血病」
- 第4回: 令和4年11月12日(土) 「悪性リンパ腫 ゆっくりなタイプ」
- 第5回: 令和5年 1月14日(土) 「悪性リンパ腫 急ぐタイプ」

- 公式 YouTube チャンネルにて順次公開予定です
<https://www.youtube.com/user/KCHorg1>



- **会場** 京都経済センター3階会議室
京都市下京区四条通室町東入
函谷鉾町78番地
- **時間** 10:30～11:30
- **申込不要**
- **参加無料**

みなさん是非
お越しください！



第6回講演医師
宮原 裕子

京都市立病院 無料送迎バス

ぜひお気軽にご利用ください

2023年4月3日から

時間	京都市立病院 ～出発～	阪急西院駅 (IBTSUTAYA前)	京都市立病院 ～到着～
8時	40	45	50
9時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
10時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
11時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
12時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
13時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
14時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
15時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
16時	00 20 40	05 25 45	10 30 50

※平日のみ(土日祝日、年末年始等の休診日は運休)

ルートの変更 運行時間の変更 車両の変更 を行います

変更内容(詳細)

- 運行ルート → 病院 ⇄ 西院駅前
- 運行間隔 → 20分に1本
- 車 両 → 定員9名



運行車両(イメージ)

※満席の場合、次の便への乗車をお願いすることがあります。
※折り畳める車いすをご利用の方であれば乗車可能です。



2023年3月31日まで

時間	京都市立病院 ～出発～	阪急西院駅 (IBTSUTAYA前)	JR丹波口駅 (ユニクロ前)	京都市立病院 ～到着～
8時	30	35	45	50
9時	00 30	05 35	15 45	20 50
10時	00 30	05 35	15 45	20 50
11時	00 30	05 35	15 45	20 50
12時	00 30	05 35	15 45	20 50
13時	00 30	05 35	15 45	20 50
14時	00 30	05 35	15 45	20 50
15時	00 30	05 35	15 45	20 50
16時	00 30	05 35	15 45	20 50

※平日のみ(土日祝日、年末年始等の休診日は運休)



送迎バス バス停
京都市バス バス停

ご意見募集中!

「やすらぎ」冬号を最後までお読みいただきありがとうございます。当院では、「やすらぎ」に関するご意見を当院ホームページにて募集しています。右のQRコードを読み取りのうえ、ご意見・ご感想等を記入し送信してください。いただいたご意見は、今後の紙面の充実の参考とさせていただきます。



やすらぎ 2023・冬号 令和5年1月16日発行

発行: 京都市立病院機構 京都市立病院
〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1番地の2
TEL 075-311-5311
FAX 075-321-6025

